

年 組 名前：



藤井 駿伍  
木場 菜摘

青紫の羽を  
ける雄のオ  
ムラサキ北  
杜・オオム  
ラサキセン  
ター



### 青紫の羽次々`開花、北杜・オオムラサキセンター

北杜市のオオムラサキセンター(富樫和孝館長)で、国蝶オオムラサキの羽化が最盛期を迎えている。8月上旬までセンター内の生態観察施設「びぼりうむ長坂」でオオムラサキが舞う姿が観察できる。

センターによると、オオムラサキはサナギになつてから2週間ほどで羽化する。今季は例年より1週間ほど早い6月16日に最初の羽化が確認されたという。羽化した後は数時間かけて羽を乾かして広げる。雄は青紫に黄色の斑点がある羽を持つ。雌は茶色っぽく、雄より一回り羽が大きい。

羽化は7月中旬まで見ることができ、8月上旬まで施設内で舞う姿を楽しむ。富樫館長は「オオムラサキの羽化はこの時季のみで夏の風物詩。ぜひ見に来てほしい」と話している。

〈木場菜摘〉

(2024年7月10日付 山梨日日新聞17面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1 北杜市のオオムラサキセンターで、オオムラサキが舞う姿が観察できる施設名を答えてください。

.....

問2 今季最初の羽化した日を答えてください。

.....  
が 月 ..... に 日

問3 オオムラサキの雄と雌の特徴を答えてください。

・雄 : .....

・雌 : .....